



# 市政だより

58年 市制20周年  
記念号

北九州

2月10日



昭和57年12月17日、市の花を「つつじ」「ひまわり」と決めました。



北九州市長  
谷 健平

北九州市は、昭和38年2月10日、五市の合併により誕生—今、二十周年を迎えました。新市発足以来、市政に対してご理解とご協力をいただきました市民のみなさんに心から感謝いたします。

市は、46年に始まった中期計画以後、石油ショックや不況にもめげず、大規模施設を次々に完成させるなど、大都市としての基盤整備を行ってきました。

また、現在進めている新・新中期計画は、「ハードからソフトへ」をキャッチフレーズに、都市機能の一層の成熟を目指しています。

昨年、北九州市は「緑の都市賞」を受賞しました。これは、市民と企業、行政が一体となって、コツコツと公園づくりや植樹などにはげんできた努力が、全国的に認められたものです。

今年も本市をとりまく経済情勢は厳しいものですが、過去の教訓を生かしながら、都市モノレール小倉線、文化公園、若戸大橋四車線化、都市再開発事業、白島洋上石油備蓄基地の建設などの事業を積極的に進めます。

市民のみなさんの市政への参加、ご協力をいただき、市民憲章の理想の実現に向けて北九州市は前進したいと存じます。

38年

- 10・27 第一回市民体育祭開催
- 4・2 市歌発表
- 3・15 政令指定都市となる
- 3・11 初市議会開催
- 3・15 第一回市長選挙



2・10 北九州市発足・開庁式



# 今是我们！我们的北九州市

北九州市—昭和38年2月10日、私たちは心をあわせて、百万都市を誕生させました。それは、世界に類のない五つの市の合併でもありました。そして二十年、市民と市が手を携えて住みよいまちへと育ててきた北九州市は、大都市としての力と容姿を備えて、成人式を迎えました。ここでは、その成長の記録の中から主なものを掲げてみました。いろいろな施設づくりだけでなく、高福祉都市や快適な生活環境づくり、産業・貿易都市、市民の手でつくる都市への歩みも見逃しません。そして今、北九州市はこれまでの経験と学んだ力、成果をもとにして、さらに大きな飛躍をとりようと呼び始めました。

## 二十年の歩み

39年

- 1・5 中国からの第一船「豊原号」が門司入港
- 1・15 第一回北九州市成人祭開催
- 4・19 国連調査団がマスタープランづくりの意見交換で来北
- 11・10 記念の森 第一回植樹祭

40年

- 2・4 第一回市議会議員一般選挙
- 6・29 力丸ダム完成
- 9・1 ばい煙規制法の全面適用を受ける
- 9・27 第一回市民音楽祭開催
- 11・26 肢体不自由児施設・足立学園開設

41年

- 4・1 マスタープラン実施五周年計画スタート(41・45年度)
- 6・4 水道料金を全市統一
- 10・1 国道3号戸畑バイパス開通
- 10・1 中華人民共和国田経済貿易展を開催(10月21日)

42年

- 7・25 おばあちゃん大学開講
- 11・15 第一回市長と語る会開催
- 12・15 市立病院・水道両事業の財政再建計画を市議会にて承認
- 2・1 公害モニターによるパトロール開始
- 4・1 合併による経過措置期間(タツチゾーン)が解消
- 10・1 市立小倉病院にがんセンター開設

43年

- 11・3 第一回市民体育賞表彰
- 10・10 第一回市民文化賞表彰

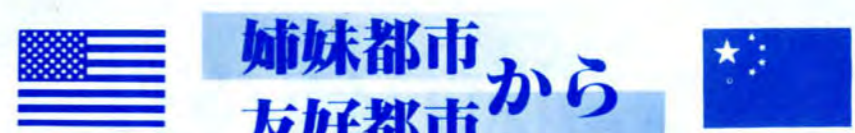
44年

- 1・10 市交通災害共済事業開始
- 3・2 市内電話料金統一
- 4・15 戸畑共同火力発電所と第一号の公害防止協定を締結
- 10・18 町づくり舗装道路千キロ突破

45年

- 11・30 救急指令センター設置
- 4・1 市公害防止条例公布。大気汚染中央監視局が活動開始
- 日明下水処理場運転開始

# 20歳、おめでとう!



タコマ市長  
タク・サザランド

北九州市の皆様、タコマ市議会とタコマ市民を代表して、北九州市誕生20周年のお祝いを申し上げます。この歴史的な機会を、北九州市の皆様と分かちあえることができ、誠に光栄です。

24年前の姉妹都市提携以来、タコマと北九州は多くのことを分かちあってきました。両市は、相互の活動を通じて、永続的で価値ある友好関係を築きあげてきました。

北九州市のここ20年間の成長と発展は誠にダイナミックなものがああります。北九州市は、日本における最先端の工業地帯の一つとなり、各種の工業や商業を有する日本第9位の大都市に成長してきました。

タコマ市民は、姉妹都市北九州市の急速な発展に驚嘆し、この発展が将来も継続するものと確信しています。

おめでとうをもう一度申し上げます。両市と両市民の努力により、今後ますます姉妹都市の絆が強くなることを願っております。

**タコマ市**

アメリカ・ワシントン州。アメリカ西部海岸最北部の商工業・港湾都市で、人口16万人、面積111平方キロ。昭和34年6月8日に旧小倉市と姉妹都市締結。



ノーフォーク市長  
ビンセント・J・トーマス

北九州市の皆様、五市合併20周年にあたり、北九州市の皆様にお祝いを申し上げるのは、大変光栄なことです。北九州市の姉妹都市・バージニア州ノーフォーク市長として、この特別の機会に北九州市の皆様と共に喜びを分かちあえるのは、大変うれしいことです。1982年のノーフォーク300年祭の時は、貴市からの代表団がおいで下さいました。これに対するお返しできて幸いです。

300周年を祝うにしろ、20周年を祝うにしろ、大切なのは、市民が自分たちの町に誇りを持っているかどうかということです。北九州市は、その短いダイナミックな歴史の中で、多くのことを成しとげたと思います。北九州市民は誇りとするものを十分に備えています。貴市の貿易、港湾、教育、経済、美しい景観、交通は産業活動の証しであり、市民の創意の表われてます。

我々は、北九州市の皆様がノーフォーク市民に差しのべられる友情の手をありがたく思っています。20周年にあたり、ノーフォーク市民が差しのべられる友情の手をお受け下さい。

20周年おめでとうございます。

**ノーフォーク市**

アメリカ・バージニア州。アメリカ東部海岸中部の港湾都市で、人口35万人、面積127平方キロ。昭和34年7月14日に田門司市と姉妹都市締結。



大連市長  
崔 榮漢

私たちの友好都市—北九州市が20周年を迎えるにあたり、大連人民政府と大連市人民を代表して、北九州市と市民の皆様にお祝い申し上げます。

北九州市は、風景の素晴らしい清潔で美しい都市です。勤勉で勇敢な北九州市民は、その聡明な才知で、自らの家庭を築き、経済、科学技術、文化、スポーツなど多くの分野で素晴らしい成果を収めました。実に喜ばしいことです。

中日両国は、一衣帯水の友好的な隣国で、両国民は子々孫々にわたる友好を願っています。中日国交正常化と中日平和友好条約の精神のもとに、両市は1979年5月、友好都市を締結、共通の願いを現実化しました。貴市の各界の皆様は、両国・両市人民の友好発展に尽力されました。この3年余、両市の友好往来はさまざまな分野で活発に行われ、大きな成果を収めました。私たちは、多くの市民の皆様と共に努力し、理解を深め、友情を発展させ、ゆるぎない友好関係を前進させるよう願っています。

貴市のご繁栄と市民の皆様のお幸せを心からお祈りいたします。

**大連市**

中国遼寧省。遼東半島の南端にある工業・港湾都市で、人口440万人、面積1万2500平方キロ。昭和54年5月1日に友好都市締結。56年2月に市名を旅大市から大連市と改称しました。

46年



1・11 市立消費生活センター開設

4・1 中期計画(46〜50年度)ガスタート

4・21 初の市文化財を指定  
6・19 田野浦コンテナターミナル供用開始  
10・15 精薄児施設・小池学園が開園  
11・7 響灘サイクリングコース完成



11・26 油木ダム完成  
3・30 市内五十四社と公害防止協定を締結  
3・31 市内で百か所目の保育所完成  
4・1 日明清掃工場が運転開始  
4・10 新市庁舎が開庁

47年



6・1 障害福祉センター開設  
7・2 かぐめよ少年自然の家開設



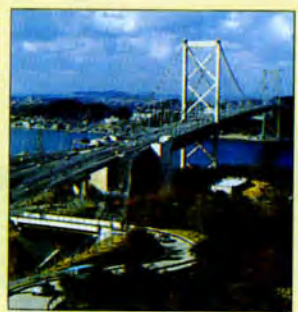
7・10 豪雨により市内全域に水害、災害救助法が適用  
9・15 老人いこいの家(四十五か所)が完成  
10・16 北九州国定公園指定  
1 第一次グリーン北九州プラン発表  
3・11 夜宮青少年センター開設  
4・4 舗装道路一千キロに達成  
4・5 市営住宅建設 一万戸達成  
5・10 総合農事センター開設

48年



7・1 3歳未満児医療費無料化実施  
7・31 新日鉄ほか三十七社と工場等緑化協定を締結  
9・10 身体障害者福祉モデル都市を宣言  
10・1 勤労者会館(レインボープラザ)開設

48年



10・15 公害による健康被害者救済制度を実施  
11・14 関門橋開通

49年



1・12 総合体育館開設

3・23 北九州市基本構想策定  
3・29 市のシンボルツリーを「いちいがい」と指定  
3・31 ます淵ダム完成  
4・1 七区制スタート  
5・1 福祉文化センター開設  
11・2 美術館開設

50年



12・29 休日急患診療センター開設  
4・1 新中期計画(50〜54年度)ガスタート  
4・16 中央図書館開設



4・21 第六回北九州市青年の船が中国を初訪問



5・15 皇后崎清掃工場運転転開始  
7・1 中央卸売市場開場



8・1 歴史博物館開設  
10・1 緑地保育センター・おひさまのいえ開設  
11・1 視聴覚センター開設

51年



4・29 小倉南市民センター開設  
世界最古の淡水魚の化石・テプロミスタスなどを発見

5・1 たしる少年自然の家開設  
5・2 八幡西市民センター開設  
7・31 北九州高速鉄道株式会社設立  
9・10 福祉住宅・清納北団地完成  
10・20 身体障害者スポーツセンター開設  
1 上水道第五期拡張事業・耶馬溪ダム着工  
3・31 サイクリングターミナル開設  
5・14 西日本総合展示場開設



52年



53年

7・1 新門司清掃工場運転転開始  
北九州勤労総合福祉センター(北九州ハイツ)開設  
中華人民共和国国展覧会を開催(10月11日)  
9・15 (財)北九州都市協会設立  
11・2 合唱組曲「北九州」発表  
2・4 産業医科大学開校  
4・1 児童文化センターに太陽望遠鏡・わんぱく広場を設置  
5・5 第一次給水制限始まる(第一次、9月1日、29日)  
6・8 救命救急センター・八幡病院竣工  
9・8 三萩野陸上競技場完成  
9・11 新門司清掃工場開設



54年



55年

10・13 老人福祉センター・まつがえ荘開設  
10・1 夜間と休日の急患診療体制を確立  
10・14 総合療育センター開設  
11・30 八幡東区役所改築落成

54年



1・11 新門司温水プール開設  
3・8 九州縦貫道と北九州直方道路開通  
3・16 百五十か所目の保育所完成  
5・1 中国・旅大市(現在の大連市)との友好都市締結



55年



56年



7・19 年長者研修大学校・周望学舎開設  
4・1 東部斎場開場  
4・2 門司文化センター開設  
4・4 彫刻のあるまちづくり、都市景観づくりスタート  
5・2 自然史博物館開設

56年



57年

7・12 もし少年自然の家開設  
7・15 薬洞海緑地開園  
1・14 下水道管きよ一千キロに達成  
4・1 市役所第一庁舎開庁  
7・28 第一回北九州市少年の船が沖縄県を訪問



10・20 北九州都市高速道路一部(篠崎北・日明ランプ)供用開始  
10 北九州都市高速道路(篠崎北・日明ランプ)を受賞



12・17 市の花を「つつじ」「ひまわり」と指定  
12・25 児童文化科学館(旧・児童文化センター)開設

市制20周年記念

市勢要覧を発売



2月10日から、1983年版市勢要覧を発売します。今年のテーマは「市制20周年」で、合併から現在までの北九州市の歩みをふりかえってみました。

■内容 北九州市の歴史、合併の時に活躍した人々の思い出話、20歳の提言、市民が選ぶふるさとベスト20、市政報告、統計などを掲載。  
■規格 B5判、120ページ。1冊700円です。  
■販売場所 市庁舎1階の政府刊行物販売所(☎803小倉北区城内1-1、582局4124)で販売しています。  
■問合せ先 市総務局広報課582局2236



八幡東区東山二丁目3-9  
安部リエ子さん (58歳)  
(美術ボランティア)

北九州に来た人が、すてきな街ねというような印象が残るようになってもらいたいですね。たとえば、美術館では収藏品や催しに特色を持たせたり、駐車場から入口までの間に散策のできる木陰を設けるなど…。確かに緑は多いんですけど、自然をうまく取り入れた魅力あるものにできれば…という気がします。



小倉北区今町三丁目16-21  
榎原 薫さん (32歳)  
(タクシー運転手)

汚職のない市政をやって欲しいね。公共施設はなかなかよく整っていると思いますが、ジョギングなどを安全にできる場所が少ないような気がします。自分の仕事に関連することでは、モノレールが早く完成して欲しい。車の流れがよくなると助かりますからね。それとタクシーのりばをもっと増やしてほしいな。

朝5時にハウスで採れた野菜を、都市高速を通過して中央卸売市場に持って行くが、高速道路は便利でええ。そう、卸売価格は安定してきたね。



小倉南区上徳力396  
佐野由伎雄さん (35歳)  
(農業)

ただ、この徳力も采えるのはいいが、市の計画やら何やかやあって…農業をする者にとって、土地は命。これまでどうり、野菜づくりが続けられればいいんやが…。

北九州市もやっと20歳。若い都市で、これから発展する都市だとは思いますが、灰色の町というイメージはなかなか消えませんね。ごみが町に散らかっているし、モラルもちょっとね。公共施設特にスポーツ施設は、もっと各区に作ってほしいですね。私も社会人として、住みよい都市づくりに努力していきます。



小倉南区大字田原271-17  
荒川 美保さん (20歳)  
(西南女学院短期大学2年)

市民登場

私のひとりごと

北九州市が誕生して二十年。いま、市民のみなさんは何を考え、求めているのでしょうか。ここに、各年代層を代表して市民二十人にご登場ねがい、五市合併して良かったこと、悪かったこと、現在の住みごころ、市への要望や提言、そして未来像等を自由に語っていただきました。



戸畑区境川二丁目12-22  
平安 利道さん (48歳)  
(青果会社勤務)

2月10日は私の誕生日なんです。北九州市と同じってわけです。ワハハハ。バラバラの都市が一つにまとまって福祉や施設など、かなりよくなったので、合併してよかったのではないかな。ただ施設は多いのに知らん人が多い。PRの強化を頼みますぞ。公害はなくなったようだが、今後ががんばっちゃくれ！



八幡東区昭和一丁目9-19  
末永 文雄さん (14歳)  
(高見中学校2年生)

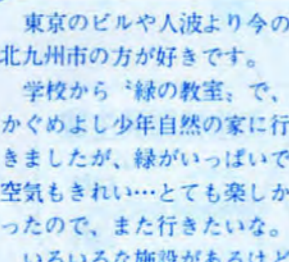
この高見中学の環境はいいですよ。全体的な施設面では充実していますが、もっと公立高校を増やしてください。それから、最近のテレビや新聞で見る汚職疑惑では、政治に悪いイメージを持っています。事実をはっきりしてほしいですね。百万都市として、住んでいて恥ずかしくない街になってもらいたいですから。

20年前に比較すると障害者福祉もかなり向上してきています。就職などはまだまだですね。



小倉南区吉田市住2-26-16  
岡田 林造さん (50歳)  
(洋服仕立師)

私は手が少し不自由ですが手の障害者に対する就職の門戸が特に狭いと感じます。それから、趣味で夫婦そろって卓球をやっていますが、体育施設が交通の便の悪い所にあるのが目につきます。キメの細かい福祉行政を望んでいます。



若松区山手町4-26  
矢永 紀子さん (11歳)  
(若松小学校5年生)

東京のビルや人波より今の北九州市の方が好きです。学校から緑の教室で、かぐめよし少年自然の家に行きましたが、緑がいっぱいで空気もきれい…とても楽しかったので、また行きたいな。いろいろな施設があるけど八幡東区のおんぼく広場のよう楽しい公園を、たくさん作ってほしいです。



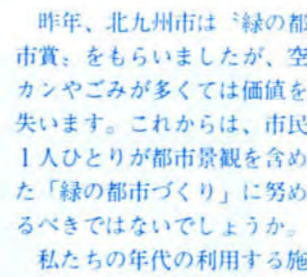
若松区今光一丁目10-1  
末吉彌太郎さん (39歳)  
(化粧品・履物販売)

少女バレーの世話をしている気になるのですが…今の子供たちは豊かな生活や物にふり回されて粘りがありません。市制20周年という北九州市—次の世代をにう子供たちを、もっと強い子に育てることも考えては…？  
そう、若松区にも、他の区にあるような地域体育館が欲しいですね。



門司区丸山吉野町10-3  
藤島 玲子さん (30歳)  
(看護婦)

美術館など大きな施設ができたのは、5市合併の成果だと思います。ただ、すべてが小倉・黒崎中心のようで、門司は何となく寂しい所になりましたね。看護婦にとって、保育所は切実な問題です。定員の増加、保育料の値下げ、夜間保育所の充実など…。北九州市をもっと夢のあるきれいな町にしていきたいですね。



若松区中畑町10-29  
梶谷 洋子さん (17歳)  
(若松高校2年生)

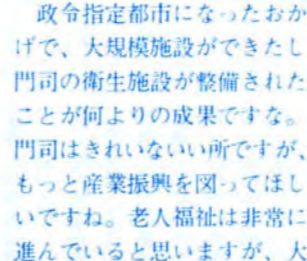


若松区中畑町10-29  
梶谷 洋子さん (17歳)  
(若松高校2年生)



小倉北区霧ヶ丘三丁目2-4-402  
岩切 拓三さん (41歳)  
(病院事務長)

病院に勤めている関係もあって健康づくりが何よりも第一と思っています。だから、地域住民の健康保持のため、少しでもお役に立てる医療機関の立場からの環境づくりに努めていきたいですね。  
市の新・新中期計画が実施されてから体育館や運動場の開放等、ソフトな面からの施策が目立ちうれしいですね。



政令指定都市になったおかげで、大規模施設ができたし門司の衛生施設が整備されたことが何よりの成果です。門司はきれいな所ですが、もっと産業振興を図ってほしいですね。老人福祉は非常に進んでいると思いますが、大会ができるような大ゲートボール場を、一つでいいからこさえてもらいたいものです。

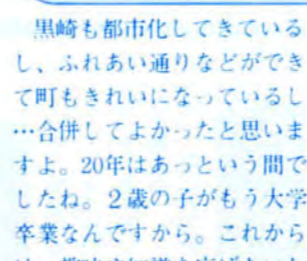


門司区大里戸ノ上二丁目20-11  
羽田 茂さん (75歳)  
(老人クラブ会長)



戸畑区西鞘ヶ谷町9-591  
藤堂 里美さん (35歳)  
(主婦)

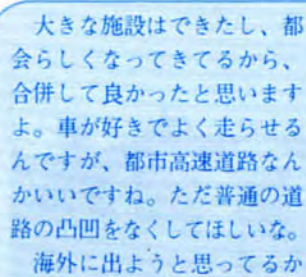
そうですね、ここは緑も多いし、環境はいいですよ。ただ、住宅地内での車の飛ばし過ぎには困ってますけど。あ、そうそう、主婦の立場としては、やっぱり物価問題。安く安定させてもらいたいですね。それに、子供が行ってるから実感として感じるんですが、市立の幼稚園をもっと増やしてほしいですね。



黒崎も都市化してきているし、ふれあい通りなどができて町もきれいになっているし…合併してよかったと思いますよ。20年はあつという間でした。2歳の子がもう大学卒業なんです。これからは、趣味や知識を広げたいし、音楽が好きなので、黒崎にも音楽ホールや文化的な施設がほしいと思っています。



八幡西区黒崎一丁目13-14  
長村 純子さん (50歳)  
(宝石・時計販売-主婦)



八幡西区皇后崎4-20  
池田 裕行さん (20歳)  
(金属工業勤務)

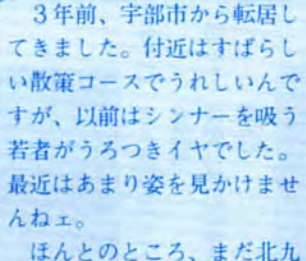


八幡西区皇后崎4-20  
池田 裕行さん (20歳)  
(金属工業勤務)



八幡西区香月1414  
大庭 千絵さん (21歳)  
(重度身障者授産施設・授産生)

合併してよかったかどうかはわかりませんが、私たち障害者のための学校や施設はついぶん充実してきたと思います。それに以前に比べて企業も障害者の雇用に理解がでてきましたが、まだ十分ではありません。雇用対策の面を力を入れてほしいな。私の夢は、そういう企業に就職して、独立することなんです。



3年前、宇部市から転居してきました。付近はすばらしい散策コースでうれしいんですが、以前はシンナーを吸う若者がうろつきイヤでした。最近あまり姿を見かけませんね。

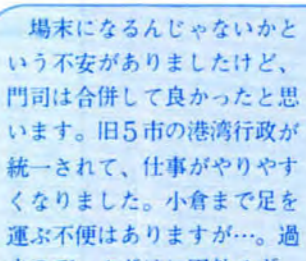


小倉北区小文字一丁目12-1  
本永アヤ子さん (75歳)  
(主婦)



八幡東区勝山一丁目6-16  
王寺 幸篤さん (77歳)  
(金属製造業経営)

住工分離での中小企業の工場団地化もいいんですが、生活圏に密着した加工型の第二次産業を増やしていくべきだと思いますね。主婦層中心の潜在労働力はかなりのものがあるし、公害面での心配さえなければ、通勤時間のムダもなく地域の購買力も上がり、ひいては産業経済にも活力がでてくると思いますよ。



場末になるんじゃないかという不安がありましたけど、門司は合併して良かったと思います。旧5市の港湾行政が統一されて、仕事やりやすくなりました。小倉まで足を運ぶ不便はありますが…。過去のデータだけに固執せず、将来を見越した行政、ほんとうに全体の利益を考えた行政をもっと進めてほしいですね。



門司区原町院13-10  
田辺 勝也さん (56歳)  
(船舶代理店勤務)

# 統計

# 今昔

## 統計に見る合併後の移り変わり

北九州市は、人口約百万人、全国で九番目の大都市です。長い道のりを経て実現した五市合併から今年で満二十年。

この間、本市で生まれた子供の数は三十五万人にのぼっています。この子たちの未来を、より幸せで豊かなものにするために統計データは欠かせません。

ここでは、本市の誕生後の足跡を中心に、人口や福祉、環境、経済など、私たちの生活と関係深い

